

7月の中小企業月次景況調査

〔令和5年7月末現在〕

全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和5年8月25日発表

◎7月のDIは多くの指標が前月比低下。

○物価高騰により消費者の節約志向が高まったことや、燃料コストの上昇により、小売業や運送業といった非製造業を中心に景況感は悪化。

○エネルギー・原材料価格上昇分の価格転嫁が遅れていることや人手不足の問題により、大部分の業種で収益力の低下が見られる。

○世界経済の減速や、エネルギー・原材料価格の更なる上昇も懸念され、先行きの不安感が拭えない。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)
全国中小企業団体中央会
担当：政策推進部
TEL 03-3523-4902
<https://www.chuokai.or.jp>

7月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 7月のD Iは、多くの指標で前月比低下。主要3指標は、景況が1.7ポイント低下、売上高が1.3ポイント改善、収益状況が2.1ポイント低下した。
2. 主要3指標以外では、設備操業度のD Iが1.3ポイント低下した。
3. 物価高により消費者の節約志向が高まったことや、価格転嫁の遅れ、人材不足といった諸問題を背景に、多くの指標が前月比マイナスに転じた。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

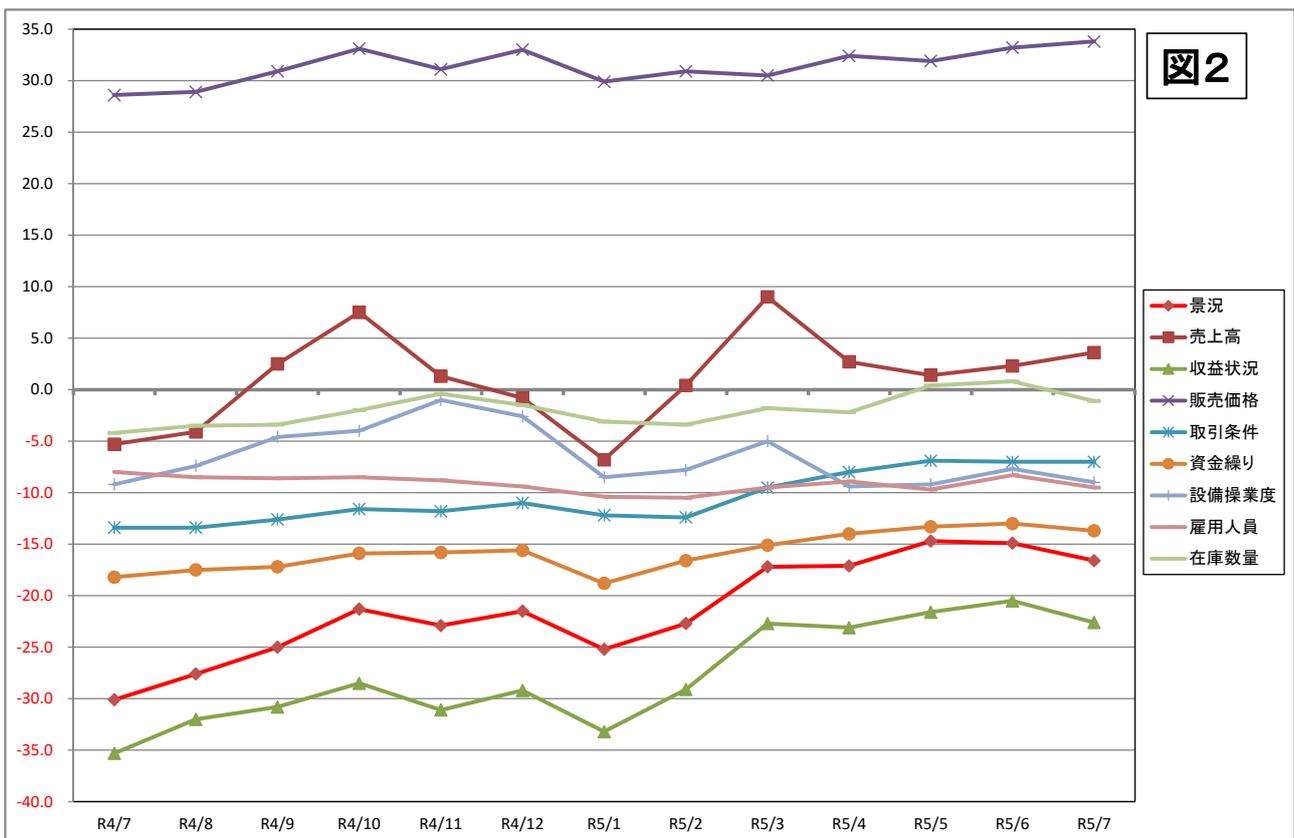


表1	R4						R5							前月比
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
景況	-30.1	-27.6	-25.0	-21.3	-22.9	-21.5	-25.2	-22.7	-17.2	-17.1	-14.7	-14.9	-16.6	-1.7
売上高	-5.3	-4.1	2.5	7.5	1.3	-0.8	-6.8	0.4	9.0	2.7	1.4	2.3	3.6	1.3
収益状況	-35.3	-32.0	-30.8	-28.5	-31.1	-29.2	-33.2	-29.1	-22.7	-23.1	-21.6	-20.5	-22.6	-2.1
販売価格	28.6	28.9	30.9	33.1	31.1	33.0	29.9	30.9	30.5	32.4	31.9	33.2	33.8	0.6
取引条件	-13.4	-13.4	-12.6	-11.6	-11.8	-11.0	-12.2	-12.4	-9.5	-8.0	-6.9	-7.0	-7.0	0.0
資金繰り	-18.2	-17.5	-17.2	-15.9	-15.8	-15.6	-18.8	-16.6	-15.1	-14.0	-13.3	-13.0	-13.7	-0.7
設備操業度	-9.2	-7.4	-4.6	-4.0	-1.0	-2.6	-8.5	-7.8	-5.0	-9.4	-9.2	-7.7	-9.0	-1.3
雇用人員	-8.0	-8.5	-8.6	-8.5	-8.8	-9.4	-10.4	-10.5	-9.5	-8.9	-9.7	-8.3	-9.5	-1.2
在庫数量	-4.2	-3.5	-3.4	-2.0	-0.4	-1.5	-3.1	-3.4	-1.8	-2.2	0.4	0.8	-1.1	-1.9

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 電力・ガス等エネルギー価格の高騰による収益悪化に苦慮しているコメントに加え、燃料油価格激変緩和補助金の段階的縮小を懸念する声も多数寄せられた。
2. 人手不足・人材確保の問題についても、全ての業種から数多く報告されている。
3. コロナ感染症の5類への分類変更やインバウンドの増加により、景気回復を期待する一方で、世界経済の減速を懸念する声も多数寄せられている。

《主な報告内容》

◇電力等エネルギー価格高騰、価格転嫁への対応等

- ・引き続き仕入価格の高騰に苦慮している。建築資材は仕入価格が乱高下している。見積をとっても、価格変動リスクが高いため、条件を付けられることが増えてきた。仕入価格や燃料費、電気料金の高騰、賃金上昇ムードなどに対応するためにも、売上の拡大や利益の確保に奔走している。
(福島県/卸売業)
- ・主要顧客の発送物量は製品毎の増減はあるものの、全体としては、ほぼ横ばいで推移している。4月以降運賃は値上げされたが、経費も高くなっており、燃料価格については一段と値上がりし、ここ最近見た事無い金額に達している。大変厳しい状況である。(茨城県/一般貨物自動車)
- ・2024問題の前に、燃料油価格激変緩和措置(ガソリン補助金)の9月末終了に向けて補助上限額が段階的に引き下げられている影響が非常に大きい。7月は前月より一挙に4円アップで、対応が追いつかない。日々確実に消費する軽油が急激に高騰していくため、間違いなく支出増となり資金繰りは厳しい。(和歌山県/小売業)

◇人手不足、人材確保の問題に対する経営への影響

- ・原材料価格高騰を受けた価格転嫁は進んでいるが、労働力不足のために稼働率が低下しており、労務倒産も出てきた。(東京都/印刷業)
- ・原材料費やエネルギーコストの上昇により物価の値上がりが続く、催事などで苦戦を強いられている。製造現場では、人手不足に起因する商品供給の遅れが一部で続いており、需要に即応できないケースがある。導入まで2カ月を切ったインボイスの影響が懸念される。(京都府/衣服等卸売業)
- ・働き方改革への対応が急務であるため、IT化等作業効率化を図り人手不足に対応している。更に担い手確保に取り組んでいるが、雇用条件等が他産業よりも見劣りし、また、依然として従来からの建設業界の就業イメージが払拭されず、応募者ゼロもあり苦戦している。(長崎県/建設業)

◇今後の景気動向に対する事業者の声

- ・半導体関連の動きが活発化されているが納品に時間がかかっている。価格転嫁が進みつつあり、業界全体に好転の兆しあるものの、中国国内景気の弱含みによる影響が懸念される。
(神奈川県/その他製造業)
- ・燃料価格、原材料費をはじめとする諸物価の高騰や物流コストの高止まり、人件費の高騰、人手不足など業界各社をとりまく経営環境は依然として厳しい状況にある。また、ウクライナ情勢の長期化、世界経済の減速懸念など、今後も景気の下振れが見込まれるため、しばらくはこの状況が続くものと予想される。(大阪府/建築金物製造業)
- ・資材高騰に連動して住宅着工が伸び悩む状況が続いており、景況が極端に悪化している。建築用、ホームセンター向けともに荷動きが悪く、先が見通せない状況である。(徳島県/製材業)

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告(要旨)」等も参照。

1. 景況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.9	▲ 16.6	▲ 1.7	悪化	↓
製造業	▲ 23.7	▲ 24.5	▲ 0.8	悪化	↓
非製造業	▲ 8.3	▲ 10.7	▲ 2.4	悪化	↓
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	なし			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	電気機器			
	5～10ポイント	繊維工業、印刷、化学・ゴム、その他の製造業、小売業、運輸業			

表2. 業種別【景況】DIの推移（前年同月比）

業種名	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	前月比
全体	-30.1	-27.6	-25.0	-21.3	-22.9	-21.5	-25.2	-22.7	-17.2	-17.1	-14.7	-14.9	-16.6	-1.7
製造業	-30.7	-29.3	-27.0	-26.0	-27.6	-25.6	-30.0	-29.4	-26.5	-27.8	-23.9	-23.7	-24.5	-0.8
食料品	-32.8	-30.3	-29.4	-26.3	-32.5	-26.9	-33.2	-25.1	-18.1	-14.8	-12.3	-19.7	-17.9	1.8
繊維工業	-30.8	-30.0	-24.6	-21.6	-23.7	-22.8	-21.1	-23.2	-16.0	-18.6	-9.0	-16.8	-22.6	-5.8
木材・木製品	-33.9	-40.2	-33.9	-43.4	-47.3	-44.6	-49.6	-49.6	-52.2	-62.5	-59.1	-55.3	-52.3	3.0
紙・紙加工品	-56.0	-37.5	-54.2	-39.2	-33.3	-28.0	-28.0	-54.2	-44.0	-57.1	-17.4	-47.8	-47.9	-0.1
印刷	-47.6	-45.0	-34.4	-45.2	-37.7	-34.4	-47.7	-46.0	-30.6	-32.8	-35.6	-33.3	-39.6	-6.3
化学・ゴム	-46.4	-32.1	-39.3	-40.7	-42.9	-21.5	-34.6	-31.1	-28.5	-29.6	-28.6	-21.5	-28.5	-7.0
窯業・土石製品	-43.6	-39.8	-42.0	-32.1	-38.5	-38.7	-39.4	-41.5	-34.6	-35.6	-33.8	-38.2	-35.9	2.3
鉄鋼・金属	-14.2	-20.5	-20.3	-13.0	-14.5	-13.5	-19.0	-19.7	-24.8	-30.0	-25.2	-14.2	-13.7	0.5
一般機器	-18.1	-16.8	-17.2	-14.9	-16.2	-18.3	-22.9	-22.3	-20.9	-18.5	-17.3	-5.8	-1.9	3.9
電気機器	-11.5	-11.6	11.6	0.0	0.0	-8.0	0.0	-4.0	-15.4	-3.6	-10.7	-6.9	-25.0	-18.1
輸送機器	-20.0	-4.4	2.2	-11.4	-6.8	0.0	-15.4	2.4	-14.3	-11.3	2.3	0.0	-2.3	-2.3
その他の製造業	-28.6	-28.6	-22.5	-25.0	-12.0	-20.0	-17.4	-27.5	-21.1	-23.5	-25.5	-17.7	-25.5	-7.8
非製造業	-29.5	-26.2	-23.5	-17.8	-19.4	-18.4	-21.7	-17.6	-10.2	-9.1	-7.8	-8.3	-10.7	-2.4
卸売業	-35.5	-31.0	-25.8	-18.2	-22.9	-17.3	-22.3	-14.7	-15.6	-7.8	-10.8	-9.3	-6.0	3.3
小売業	-36.8	-34.3	-32.7	-26.0	-31.8	-26.6	-30.9	-30.2	-21.1	-20.9	-18.2	-15.0	-20.0	-5.0
商店街	-31.8	-31.2	-27.4	-16.7	-22.3	-27.0	-25.8	-21.4	-8.0	-4.5	-8.2	-10.7	-12.5	-1.8
サービス業	-14.8	-8.0	-2.5	6.8	2.5	1.4	-5.0	2.1	15.7	13.6	15.2	9.3	6.9	-2.4
建設業	-28.1	-25.0	-27.4	-29.3	-23.3	-24.1	-25.0	-21.8	-19.8	-20.8	-14.5	-11.4	-14.5	-3.1
運輸業	-34.9	-35.4	-30.8	-29.0	-20.0	-24.8	-23.3	-21.7	-17.4	-14.0	-16.5	-18.6	-24.0	-5.4
その他の非製造業	-25.0	-20.7	-25.0	-17.2	-13.8	-6.9	-17.9	-17.2	0.0	-10.0	-3.3	-10.0	-10.4	-0.4

Pick up!

「一般機器」：自動車・建機関連で受注が増えてきており、コスト上昇分の販売価格への転嫁も進んできたことから、景況DIは▲1.9と、前月比3.9ポイント改善。

「電気機器」：産業用機械・ロボット等製造業向け受注が低調で景況DIは▲25.0と前月比18.1ポイント低下。

2. 売上高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	2.3	3.6	1.3	上昇	↗
製造業	▲ 3.2	▲ 1.7	1.5	上昇	↗
非製造業	6.4	7.6	1.2	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	木材・木製品、紙・紙加工品、窯業・土石製品、輸送機器			
	5～10ポイント	印刷、化学・ゴム、運輸業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	食料品、鉄鋼・金属、その他の製造業、商店街			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業種名	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	前月比
全体	-5.3	-4.1	2.5	7.5	1.3	-0.8	-6.8	0.4	9.0	2.7	1.4	2.3	3.6	1.3
製造業	-2.9	-5.6	0.5	5.1	4.0	-2.5	-9.5	-5.4	3.0	-2.9	-0.3	-3.2	-1.7	1.5
食料品	9.1	2.0	7.7	18.2	11.5	5.9	0.5	5.7	30.1	20.4	20.1	16.0	9.2	-6.8
繊維工業	0.8	-10.9	0.9	10.8	2.7	2.6	-1.8	5.5	10.6	7.1	1.8	6.2	4.3	-1.9
木材・木製品	-16.5	-23.2	-16.1	-21.2	-23.2	-31.3	-28.8	-38.8	-31.3	-53.6	-49.1	-55.4	-44.2	11.2
紙・紙加工品	0.0	25.0	8.4	26.1	20.8	8.0	8.0	0.0	16.0	-4.7	21.8	-30.5	4.4	34.9
印刷	-17.5	-23.4	-18.0	-1.6	9.8	0.0	-26.1	-3.2	8.0	-8.6	-13.6	-3.4	1.7	5.1
化学・ゴム	-14.3	-7.2	3.6	7.4	0.0	-10.7	-3.8	3.5	-3.6	11.1	14.3	0.0	7.1	7.1
窯業・土石製品	-31.6	-15.8	-26.0	-24.8	-20.0	-27.9	-29.9	-20.7	-10.3	-22.9	-6.7	-22.7	-10.0	12.7
鉄鋼・金属	12.7	3.8	9.4	13.1	18.4	12.0	-2.3	-0.8	1.5	-4.5	-2.3	6.7	1.5	-5.2
一般機器	-2.8	0.0	6.7	12.2	12.4	8.7	-6.6	-3.8	-2.9	1.0	1.0	18.3	16.5	-1.8
電気機器	19.3	3.8	19.2	27.0	23.1	12.0	-6.4	12.0	-11.6	7.1	-7.1	-17.3	-21.4	-4.1
輸送機器	6.7	-2.2	24.4	9.1	0.0	4.7	10.3	9.7	-4.8	15.9	20.4	13.6	27.3	13.7
その他の製造業	-6.1	-16.4	6.1	3.8	10.0	-2.0	-5.8	-17.6	-1.9	4.0	0.0	-9.9	-17.7	-7.8
非製造業	-7.2	-2.9	4.0	9.1	-0.8	0.4	-4.8	4.7	13.6	6.7	2.6	6.4	7.6	1.2
卸売業	-11.5	4.6	21.4	22.7	5.4	13.4	7.2	20.5	17.6	11.8	6.9	17.3	20.7	3.4
小売業	-11.8	-10.4	-3.8	2.7	-13.4	-2.8	-14.9	-13.0	-1.3	-6.4	-13.0	-0.6	1.9	2.5
商店街	-3.9	0.0	-7.7	8.4	1.9	-2.6	-11.3	11.0	17.4	15.2	13.7	18.8	13.8	-5.0
サービス業	4.0	10.4	16.9	24.9	12.2	6.1	11.3	24.2	42.3	28.2	27.9	21.1	19.4	-1.7
建設業	-22.6	-16.9	-10.1	-8.4	-12.7	-12.6	-12.5	-7.2	-7.5	-10.3	-10.0	-9.2	-8.5	0.7
運輸業	7.0	-1.5	10.0	7.6	12.3	6.9	-3.8	-1.6	18.9	7.0	-10.9	-10.0	0.0	10.0
その他の非製造業	10.7	-6.9	-3.5	-6.9	-3.4	-13.8	-42.9	-3.5	3.6	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0

Pick up!

「紙・紙加工品」：荷動きが活発化してきおり、段ボールや土産物関係の売上げ増加したことで、売上高DIは4.4と前月比34.9ポイント改善。

「食料品」：消費者の節約志向の高まりや、記録的な猛暑や大雨の影響で消費行動が低調となったことから、売上高DIは9.2と前月比6.8ポイント低下。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向		
全体	▲ 20.5	▲ 22.6	▲ 2.1	悪化	↘	
製造業	▲ 28.3	▲ 30.7	▲ 2.4	悪化	↘	
非製造業	▲ 14.5	▲ 16.4	▲ 1.9	悪化	↘	
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	化学・ゴム				
	5～10ポイント	紙・紙加工品、輸送機器、その他の非製造業				
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	電気機器				
	5～10ポイント	食料品、鉄鋼・金属、商店街、運輸業				

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業種名	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	前月比
全体	-35.3	-32.0	-30.8	-28.5	-31.1	-29.2	-33.2	-29.1	-22.7	-23.1	-21.6	-20.5	-22.6	-2.1
製造業	-37.1	-36.6	-35.0	-34.8	-36.8	-34.8	-39.8	-37.1	-30.6	-32.1	-31.5	-28.3	-30.7	-2.4
食料品	-41.4	-34.4	-39.7	-40.4	-40.5	-39.8	-41.2	-35.4	-21.6	-23.5	-21.6	-20.2	-26.7	-6.5
繊維工業	-40.4	-39.0	-43.9	-42.4	-44.7	-39.5	-40.3	-41.6	-38.1	-31.8	-31.5	-27.4	-31.3	-3.9
木材・木製品	-29.5	-37.5	-29.5	-33.6	-39.2	-41.9	-38.7	-47.8	-34.7	-52.7	-54.6	-49.1	-54.1	-5.0
紙・紙加工品	-56.0	-25.0	-29.2	-30.4	-33.3	-28.0	-28.0	-33.4	-44.0	-47.6	-43.5	-34.8	-26.1	8.7
印刷	-63.5	-53.4	-54.1	-59.7	-52.5	-49.2	-66.2	-53.9	-41.9	-25.9	-42.3	-36.7	-39.6	-2.9
化学・ゴム	-50.0	-42.9	-46.4	-40.8	-50.0	-32.2	-57.7	-55.2	-39.3	-29.6	-42.8	-50.0	-32.2	17.8
窯業・土石製品	-39.1	-39.1	-32.8	-36.5	-40.8	-36.5	-37.3	-37.7	-30.1	-34.0	-30.1	-33.1	-29.0	4.1
鉄鋼・金属	-24.7	-33.3	-29.7	-28.5	-26.7	-25.5	-42.4	-31.0	-32.9	-31.6	-30.7	-23.2	-30.6	-7.4
一般機器	-35.3	-36.4	-37.1	-30.9	-26.7	-28.9	-32.4	-34.9	-26.6	-32.0	-26.9	-17.3	-17.5	-0.2
電気機器	-27.0	-19.3	-3.8	-7.7	-11.5	-16.0	-16.1	-8.0	-15.4	-21.4	-17.8	-24.1	-39.3	-15.2
輸送機器	-33.3	-35.5	-22.3	-22.8	-31.8	-23.3	-25.6	-14.6	-33.4	-31.8	-22.7	-18.2	-11.4	6.8
その他の製造業	-20.4	-30.6	-24.5	-11.6	-28.0	-28.0	-38.5	-31.4	-23.1	-23.6	-25.5	-25.5	-29.4	-3.9
非製造業	-33.9	-28.6	-27.5	-23.8	-26.8	-24.9	-28.2	-23.2	-16.6	-16.5	-14.3	-14.5	-16.4	-1.9
卸売業	-37.0	-30.0	-23.4	-23.2	-26.9	-17.3	-24.2	-12.7	-16.1	-15.2	-15.7	-16.3	-16.3	0.0
小売業	-43.0	-37.2	-37.1	-34.2	-38.9	-35.1	-39.5	-41.3	-29.4	-28.9	-25.0	-24.3	-24.6	-0.3
商店街	-35.7	-29.9	-32.5	-22.4	-30.0	-27.0	-30.2	-24.1	-18.6	-13.3	-15.0	-6.9	-13.8	-6.9
サービス業	-15.9	-8.3	-8.9	1.8	-4.7	-9.6	-11.3	-4.7	9.3	3.5	8.1	3.3	-1.1	-4.4
建設業	-40.5	-33.9	-31.3	-36.4	-33.1	-32.5	-33.8	-28.5	-27.4	-24.9	-19.4	-21.9	-20.8	1.1
運輸業	-33.3	-38.4	-35.4	-32.8	-30.8	-32.5	-30.8	-25.6	-21.2	-19.4	-22.6	-20.9	-26.3	-5.4
その他の非製造業	-21.5	-24.2	-35.7	-20.7	-17.2	-6.9	-28.5	-13.8	-7.1	-13.3	-23.3	-16.7	-6.9	9.8

Pick up!

「化学・ゴム」：自動車部品関連で好調な兆しがみられることや、コスト上昇分の販売価格への転嫁が進んだことで、収益状況DIは▲32.2と前月比17.8ポイント改善。

「鉄鋼・金属」：鋼材価格の高騰とエネルギー価格が高止まりしていることから、収益状況DIは▲30.6と前月比7.4ポイント低下。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 13.0	▲ 13.7	▲ 0.7	悪化	↘
製造業	▲ 15.2	▲ 16.5	▲ 1.3	悪化	↘
非製造業	▲ 11.2	▲ 11.6	▲ 0.4	悪化	↘
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	33.2	33.8	0.6	上昇	↗
製造業	33.5	33.4	▲ 0.1	悪化	↘
非製造業	33.0	34.3	1.3	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 7.0	▲ 7.0	0.0	不変	→
製造業	▲ 5.5	▲ 4.9	0.6	上昇	↗
非製造業	▲ 8.2	▲ 8.5	▲ 0.3	悪化	↘
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 7.7	▲ 9.0	▲ 1.3	悪化	↘
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 8.3	▲ 9.5	▲ 1.2	悪化	↘
製造業	▲ 6.9	▲ 9.1	▲ 2.2	悪化	↘
非製造業	▲ 9.3	▲ 9.8	▲ 0.5	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	0.8	▲ 1.1	▲ 1.9	悪化	↘
製造業	1.1	▲ 0.4	▲ 1.5	悪化	↘
非製造業	0.4	▲ 2.3	▲ 2.8	悪化	↘

Calendar 2023

～～ 国内外の主なトピックス（令和5年8月）～～

8月 7日 (月)	6月の景気動向指数：内閣府。景気の現状を示す一致指数は前月比 0.9 ポイント上昇の 115.2 だった。スマートフォン向けの電子部品の出荷が堅調だった。
8月 8日 (火)	7月の景気ウォッチャー調査：内閣府。3カ月前と比べた現状判断指数は 54.4 と前月比で 0.8 ポイント上昇。猛暑による夏物商戦で、小売り関連の景況感が上がった。
8月 8日 (火)	2023 年上期（1-6 月期）の国際収支速報：財務省。経常収支は前年同期比 11.1% 増の 8 兆 132 億円の黒字で、黒字幅が 8028 億円拡大した。原油価格の下落や自動車の輸出の増加で、貿易収支の赤字幅が縮小したことが主な要因。
8月 9日 (水)	7月の工作機械受注額：日本工作機械工業会。前年同月比 19.8% 減の 1142 億円と 7カ月連続で前年実績を下回った。中国の景気減速等を受け様子見が続いている。
8月 10日 (木)	7月の企業物価指数：日本銀行。前年同月比 3.6% 上昇。伸び率は 7カ月連続で鈍化しているが、価格転嫁の動きが続いており、このまま物価高が収束するかは不透明。
8月 15日 (火)	4～6月期 GDP 速報値：内閣府。日本の 4～6月期の実質成長率は前期比年率で 6.0% を記録。個人消費は物価高でマイナスに転じた一方、外需が高成長を牽引。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和5年7月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全体	-16.6	3.6	-22.6	33.8	-7.0	-13.7	-9.0	-9.5	-1.1
製造業	-24.5	-1.7	-30.7	33.4	-4.9	-16.5	-9.0	-9.1	-0.4
非製造業	-10.7	7.6	-16.4	34.3	-8.5	-11.6		-9.8	-2.3

(製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食料品	-17.9	9.2	-26.7	52.3	-7.2	-20.0	-4.1	-8.2	-4.1
繊維工業	-22.6	4.3	-31.3	24.4	-6.1	-21.7	-6.1	-8.7	0.0
木材・木製品	-52.3	-44.2	-54.1	-15.3	-21.6	-25.2	-27.0	-5.4	-5.4
紙・紙加工品	-47.9	4.4	-26.1	60.9	0.0	-4.4	-30.4	-17.4	-8.7
印刷	-39.6	1.7	-39.6	38.0	-3.5	-20.7	-19.0	-17.3	-5.1
化学・ゴム	-28.5	7.1	-32.2	42.9	-7.1	-10.7	-3.6	0.0	35.8
窯業・土石製品	-35.9	-10.0	-29.0	58.0	0.0	-11.4	-12.9	-15.3	0.0
鉄鋼・金属	-13.7	1.5	-30.6	32.9	1.6	-12.9	-7.6	-9.2	-2.3
一般機器	-1.9	16.5	-17.5	30.1	0.0	-9.7	2.9	1.0	2.0
電気機器	-25.0	-21.4	-39.3	17.9	-7.1	-17.8	-10.7	-25.0	3.6
輸送機器	-2.3	27.3	-11.4	20.5	-2.3	-11.4	18.1	-9.1	18.2
その他の製造業	-25.5	-17.7	-29.4	29.4	0.0	-13.7	-17.7	-9.8	-5.9

(非製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸売業	-6.0	20.7	-16.3	45.3	-8.8	-10.4		-3.5	1.0
小売業	-20.0	1.9	-24.6	40.6	-12.0	-18.7		-11.7	-4.9
商店街	-12.5	13.8	-13.8	43.4	-13.1	-13.8		-4.0	-1.3
サービス業	6.9	19.4	-1.1	32.4	-3.9	-4.7		-9.7	
建設業	-14.5	-8.5	-20.8	20.0	-10.6	-8.5		-11.5	
運輸業	-24.0	0.0	-26.3	20.2	-0.8	-14.8		-21.7	
その他の非製造業	-10.4	0.0	-6.9	34.5	0.0	-6.9		3.4	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和5年7月末現在)

(単位:%)

業種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全体	11.4	60.6	28.0	30.8	42.0	27.2	11.3	54.8	33.9	39.8	54.2	6.0	4.4	84.2	11.4	3.4	79.6	17.1	12.8	65.4	21.8	5.0	80.5	14.5	14.7	69.5	15.8
製造業	8.7	58.1	33.2	29.0	40.3	30.7	8.1	53.1	38.8	39.8	53.8	6.4	4.4	86.2	9.3	2.8	77.9	19.3	12.8	65.4	21.8	5.9	79.1	15.0	14.2	71.1	14.6
非製造業	13.4	62.5	24.1	32.1	43.4	24.5	13.8	56.0	30.2	39.9	54.5	5.6	4.4	82.7	12.9	3.8	80.8	15.4	0.0	0.0	0.0	4.3	81.6	14.1	15.3	67.1	17.6

(製造業)

業種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食料品	10.3	61.5	28.2	35.4	38.5	26.2	8.2	56.9	34.9	53.3	45.6	1.0	3.1	86.7	10.3	2.1	75.9	22.1	13.3	69.2	17.4	4.6	82.6	12.8	14.9	66.2	19.0
繊維工業	7.8	61.7	30.4	27.8	48.7	23.5	7.0	54.8	38.3	28.7	67.0	4.3	4.3	85.2	10.4	2.6	73.0	24.3	13.9	66.1	20.0	7.8	75.7	16.5	14.8	70.4	14.8
木材・木製品	3.6	40.5	55.9	13.5	28.8	57.7	2.7	40.5	56.8	18.9	46.8	34.2	0.0	78.4	21.6	1.8	71.2	27.0	3.6	65.8	30.6	5.4	83.8	10.8	19.8	55.0	25.2
紙・紙加工品	13.0	26.1	60.9	43.5	17.4	39.1	13.0	47.8	39.1	65.2	30.4	4.3	8.7	82.6	8.7	4.3	87.0	8.7	17.4	34.8	47.8	4.3	73.9	21.7	21.7	47.8	30.4
印刷	5.2	50.0	44.8	27.6	46.6	25.9	5.2	50.0	44.8	41.4	55.2	3.4	10.3	75.9	13.8	1.7	75.9	22.4	13.8	53.4	32.8	3.4	75.9	20.7	5.2	84.5	10.3
化学・ゴム	3.6	64.3	32.1	35.7	35.7	28.6	10.7	46.4	42.9	42.9	57.1	0.0	0.0	92.9	7.1	3.6	82.1	14.3	21.4	53.6	25.0	14.3	71.4	14.3	42.9	50.0	7.1
窯業・土石製品	7.6	48.9	43.5	28.2	33.6	38.2	11.5	48.1	40.5	59.5	38.9	1.5	5.3	89.3	5.3	4.6	79.4	16.0	9.2	68.7	22.1	1.5	81.7	16.8	9.2	81.7	9.2
鉄鋼・金属	10.7	64.9	24.4	30.5	40.5	29.0	7.6	54.2	38.2	38.2	56.5	5.3	6.9	87.8	5.3	3.1	80.9	16.0	13.0	66.4	20.6	5.3	80.2	14.5	12.2	73.3	14.5
一般機器	10.7	76.7	12.6	31.1	54.4	14.6	9.7	63.1	27.2	33.0	64.1	2.9	4.9	90.3	4.9	3.9	82.5	13.6	16.5	69.9	13.6	10.7	79.6	9.7	10.7	80.6	8.7
電気機器	10.7	53.6	35.7	17.9	42.9	39.3	7.1	46.4	46.4	25.0	67.9	7.1	3.6	85.7	10.7	3.6	75.0	21.4	17.9	53.6	28.6	3.6	67.9	28.6	17.9	67.9	14.3
輸送機器	18.2	61.4	20.5	40.9	45.5	13.6	13.6	61.4	25.0	27.3	65.9	6.8	6.8	84.1	9.1	0.0	88.6	11.4	29.5	59.1	11.4	13.6	63.6	22.7	20.5	77.3	2.3
その他の製造業	5.9	62.7	31.4	17.6	47.1	35.3	5.9	58.8	35.3	29.4	70.6	0.0	2.0	96.1	2.0	3.9	78.4	17.6	3.9	74.5	21.6	3.9	82.4	13.7	7.8	78.4	13.7

(非製造業)

業種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸売業	17.2	59.6	23.2	45.3	30.0	24.6	12.8	58.1	29.1	51.7	41.9	6.4	3.0	85.2	11.8	3.4	82.8	13.8				5.4	85.7	8.9	20.7	59.6	19.7
小売業	8.6	62.8	28.6	30.5	40.9	28.6	12.0	51.4	36.6	49.8	40.9	9.2	4.6	78.8	16.6	2.5	76.3	21.2				3.1	82.2	14.8	11.7	71.7	16.6
商店街	13.2	61.2	25.7	32.9	48.0	19.1	14.5	57.2	28.3	48.7	46.1	5.3	3.3	80.3	16.4	3.3	79.6	17.1				5.9	84.2	9.9	15.8	67.1	17.1
サービス業	23.4	60.1	16.5	38.5	42.4	19.1	21.6	55.8	22.7	35.3	61.9	2.9	6.5	83.1	10.4	6.1	83.1	10.8				6.8	76.6	16.5			
建設業	5.1	75.3	19.6	16.6	58.3	25.1	4.7	69.8	25.5	25.1	69.8	5.1	2.6	84.3	13.2	2.1	87.2	10.6				3.0	82.6	14.5			
運輸業	14.0	48.1	38.0	29.5	41.1	29.5	16.3	41.1	42.6	22.5	75.2	2.3	6.2	86.8	7.0	5.4	74.4	20.2				0.8	76.7	22.5			
その他の非製造業	10.3	69.0	20.7	31.0	37.9	31.0	24.1	44.8	31.0	41.4	51.7	6.9	6.9	86.2	6.9	6.9	79.3	13.8				3.4	96.6	0.0			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和5年7月末現在)

〔全国〕

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		11.4	60.6	28.0	-16.6	30.8	42.0	27.2	3.6	11.3	54.8	33.9	-22.6
製造業		8.7	58.1	33.2	-24.5	29.0	40.3	30.7	-1.7	8.1	53.1	38.8	-30.7
非製造業		13.4	62.5	24.1	-10.7	32.1	43.4	24.5	7.6	13.8	56.0	30.2	-16.4

〔近畿地方〕

滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県,
和歌山県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		11.3	58.7	30.0	-18.7	26.7	44.1	29.1	-2.4	8.5	54.3	37.2	-28.7
製造業		6.9	56.9	36.2	-29.3	24.1	37.9	37.9	-13.8	5.2	56.0	38.8	-33.6
非製造業		15.3	60.3	24.4	-9.1	29.0	49.6	21.4	7.6	11.5	52.7	35.9	-24.4

〔北海道・東北地方〕

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県,
山形県, 福島県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		11.5	59.7	28.9	-17.4	31.8	35.4	32.8	-1.0	11.5	52.1	36.4	-24.9
製造業		9.6	51.9	38.5	-28.9	26.9	33.7	39.4	-12.5	8.7	43.3	48.1	-39.4
非製造業		12.4	63.7	23.9	-11.5	34.3	36.3	29.4	4.9	12.9	56.7	30.3	-17.4

〔中国地方〕

鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		10.0	64.3	25.7	-15.7	29.9	42.3	27.8	2.1	11.6	50.6	37.8	-26.2
製造業		8.0	59.8	32.1	-24.1	26.8	41.1	32.1	-5.3	4.5	52.7	42.9	-38.4
非製造業		11.6	68.2	20.2	-8.6	32.6	43.4	24.0	8.6	17.8	48.8	33.3	-15.5

〔関東・甲信越地方〕

茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県,
東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		11.9	61.3	26.8	-14.9	32.8	42.1	25.1	7.7	11.2	57.7	31.0	-19.8
製造業		10.9	57.5	31.6	-20.7	30.5	42.1	27.4	3.1	7.9	54.5	37.6	-29.7
非製造業		12.5	64.0	23.5	-11.0	34.4	42.1	23.5	10.9	13.6	60.0	26.4	-12.8

〔四国地方〕

徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		15.1	53.5	31.4	-16.3	29.7	40.7	29.7	0.0	9.9	50.0	40.1	-30.2
製造業		15.2	55.7	29.1	-13.9	30.4	41.8	27.8	2.6	10.1	50.6	39.2	-29.1
非製造業		15.1	51.6	33.3	-18.2	29.0	39.8	31.2	-2.2	9.7	49.5	40.9	-31.2

〔東海・北陸地方〕

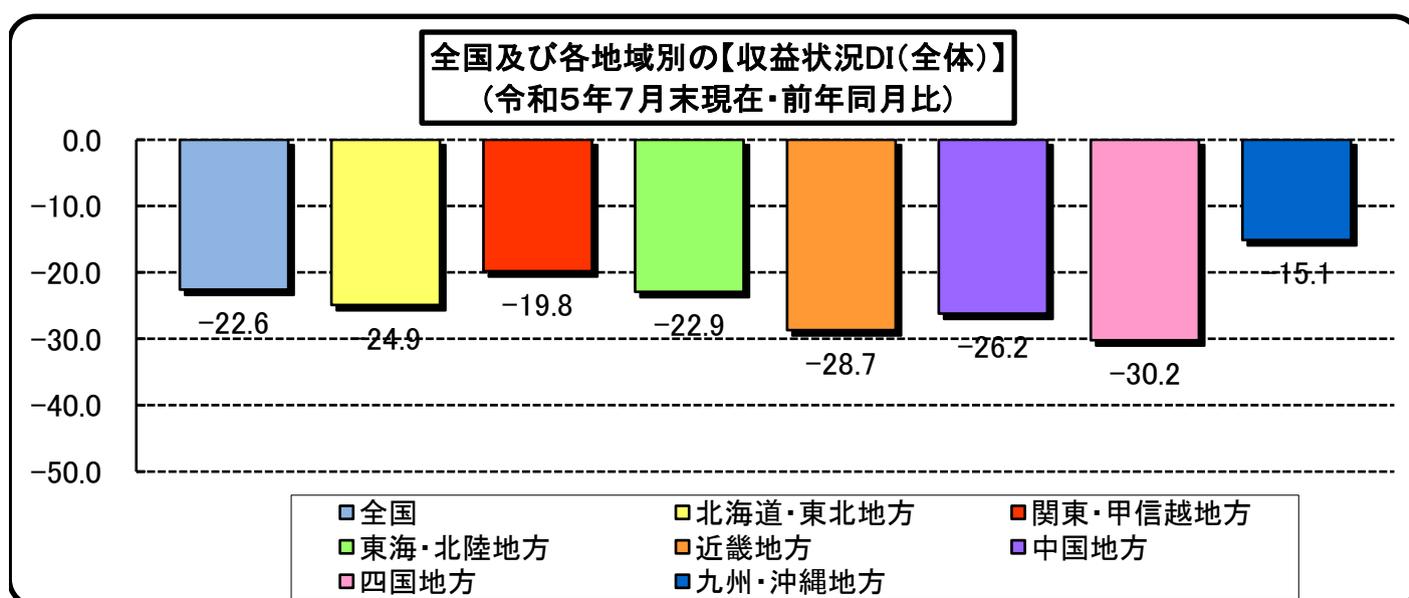
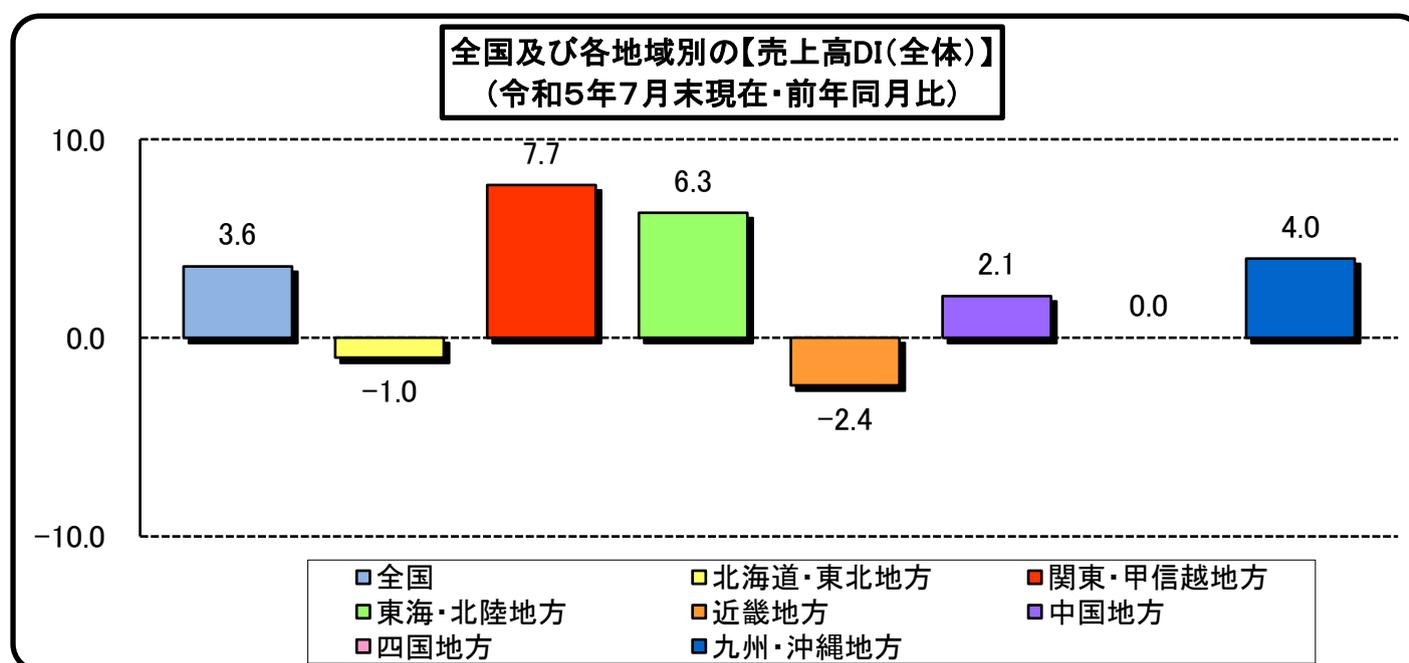
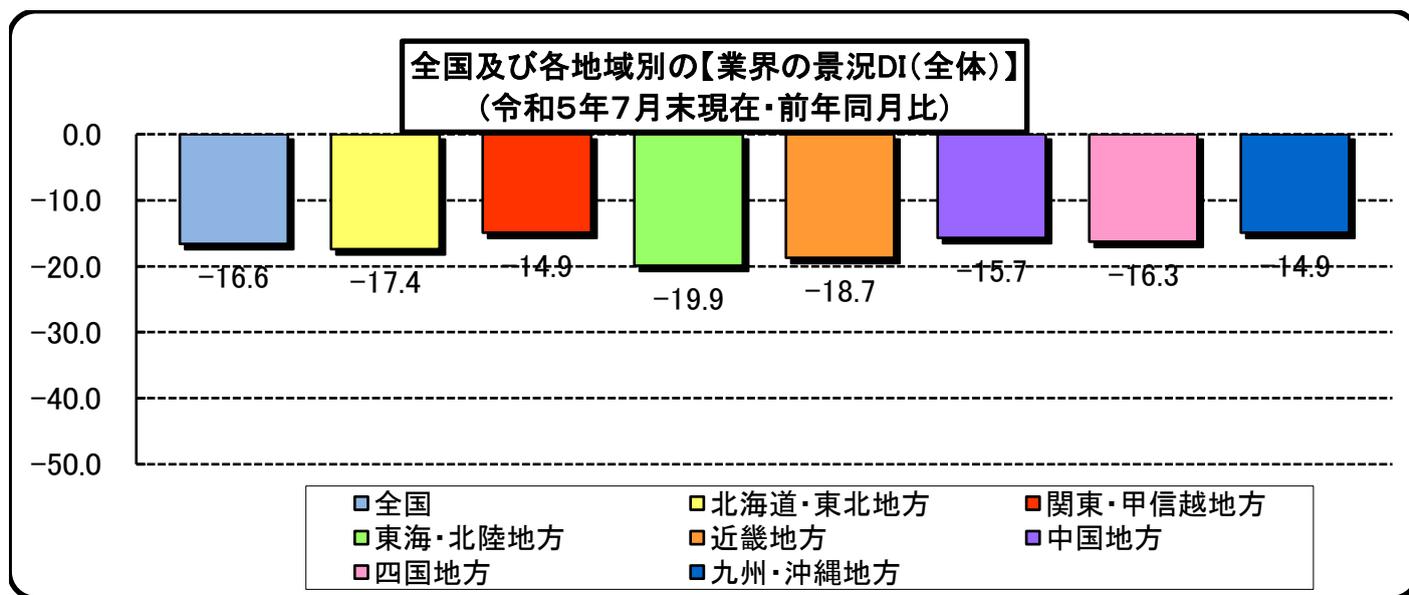
静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県,
石川県, 福井県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		10.4	59.3	30.3	-19.9	29.5	47.3	23.2	6.3	10.2	56.7	33.1	-22.9
製造業		6.7	58.2	35.1	-28.4	29.9	42.8	27.3	2.6	8.2	52.6	39.2	-31.0
非製造業		14.1	60.3	25.6	-11.5	29.1	51.8	19.1	10.0	12.1	60.8	27.1	-15.0

〔九州・沖縄地方〕

福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県,
宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

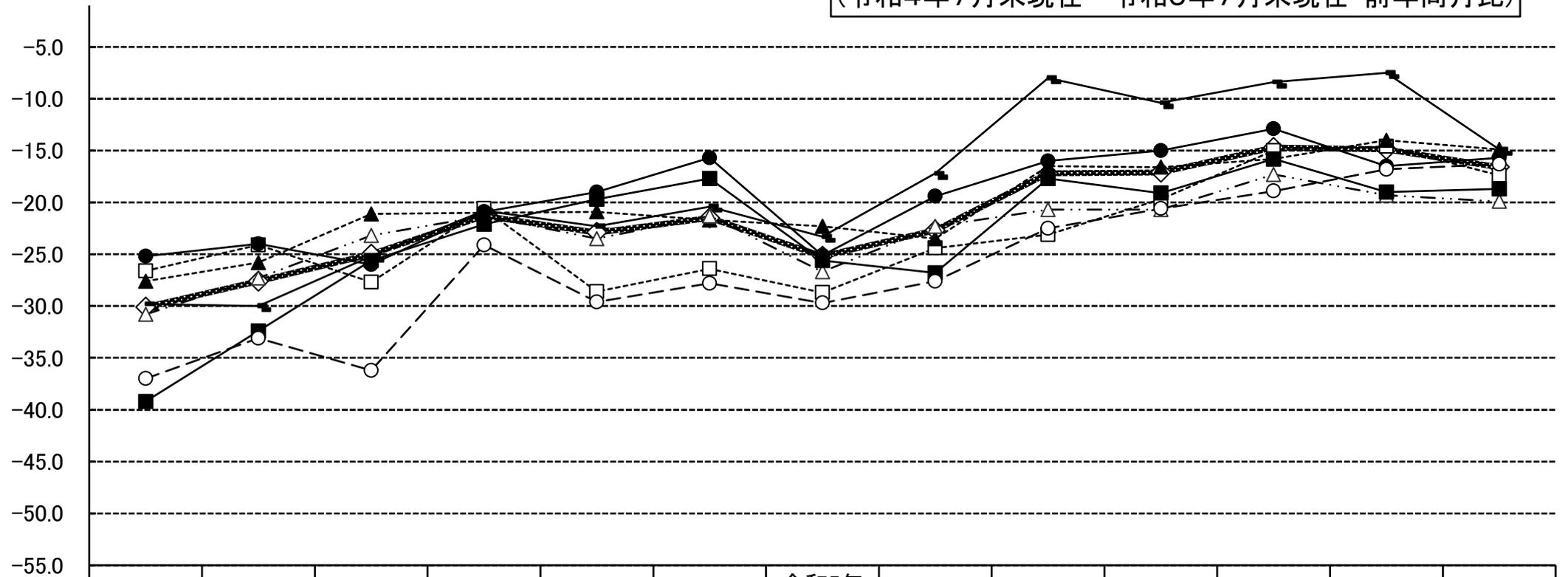
項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		10.8	63.5	25.7	-14.9	31.6	40.8	27.6	4.0	14.9	55.1	30.0	-15.1
製造業		5.4	63.9	30.6	-25.2	31.3	38.8	29.9	1.4	11.6	57.8	30.6	-19.0
非製造業		14.3	63.2	22.4	-8.1	31.8	42.2	26.0	5.8	17.0	53.4	29.6	-12.6



[北海道・東北地方]
[関東・甲信越地方]
[東海・北陸地方]
[近畿地方]
[中国地方]
[四国地方]
[九州・沖縄地方]

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和4年7月末現在～令和5年7月末現在・前年同月比)



	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	令和5年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末
◆系列1	-30.1	-27.6	-25.0	-21.3	-22.9	-21.5	-25.2	-22.7	-17.2	-17.1	-14.7	-14.9	-16.6
□系列2	-26.6	-24.1	-27.7	-20.6	-28.6	-26.4	-28.7	-24.4	-23.1	-19.7	-15.0	-14.6	-17.4
▲系列3	-27.6	-25.8	-21.1	-21.0	-20.9	-21.7	-22.3	-23.5	-16.5	-16.6	-15.8	-14.0	-14.9
△系列4	-30.8	-27.3	-23.2	-21.3	-23.5	-21.3	-26.7	-22.3	-20.7	-20.7	-17.3	-19.3	-19.9
■系列5	-39.2	-32.4	-25.6	-22.1	-19.7	-17.7	-25.6	-26.8	-17.7	-19.1	-15.8	-19.0	-18.7
●系列6	-25.2	-24.0	-26.0	-20.9	-19.0	-15.7	-25.1	-19.4	-16.0	-15.0	-12.9	-16.5	-15.7
○系列7	-37.0	-33.1	-36.2	-24.1	-29.6	-27.8	-29.7	-27.6	-22.5	-20.6	-18.9	-16.8	-16.3
—系列8	-29.8	-30.0	-25.2	-20.8	-22.3	-20.4	-23.3	-17.2	-8.0	-10.4	-8.4	-7.5	-14.9

- [北海道・東北地方(系列2)] 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
- [関東・甲信越地方(系列3)] 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
- [東海・北陸地方(系列4)] 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
- [近畿地方(系列5)] 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
- [中国地方(系列6)] 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
- [四国地方(系列7)] 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
- [九州・沖縄地方(系列8)] 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

※系列1は全国値です。